

ODFPoleFigure1.5、ODFPoleFigure2

極点処理に `defocus` 曲線の整形機能を追加

2019年11月27日

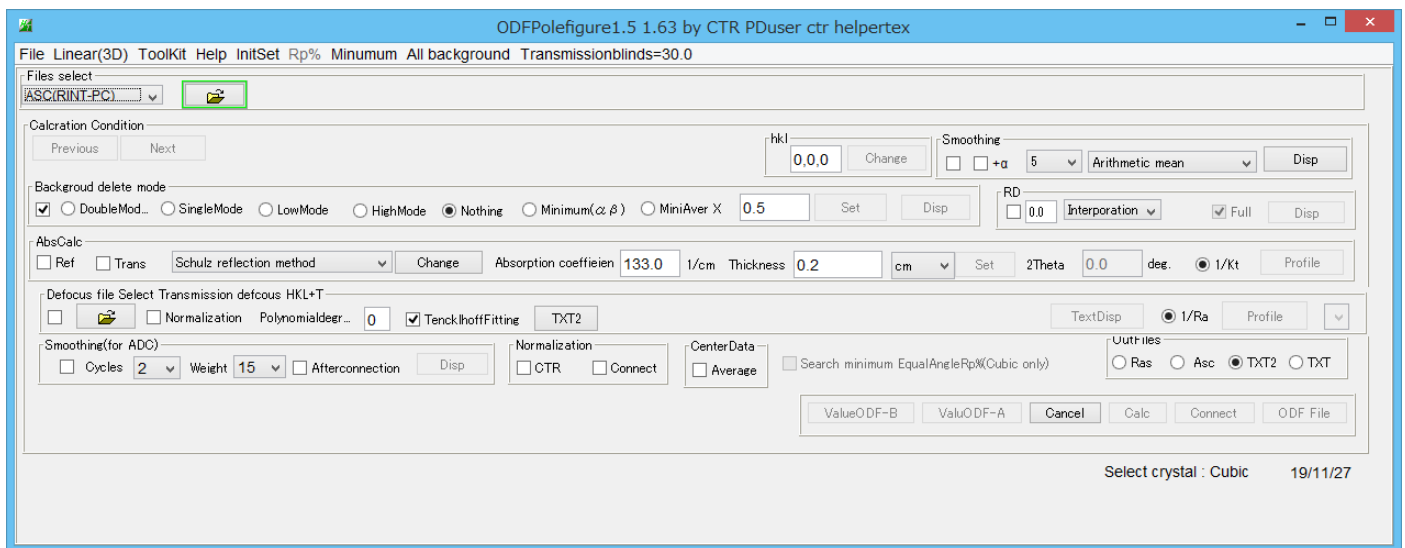
HelperText Office

概要

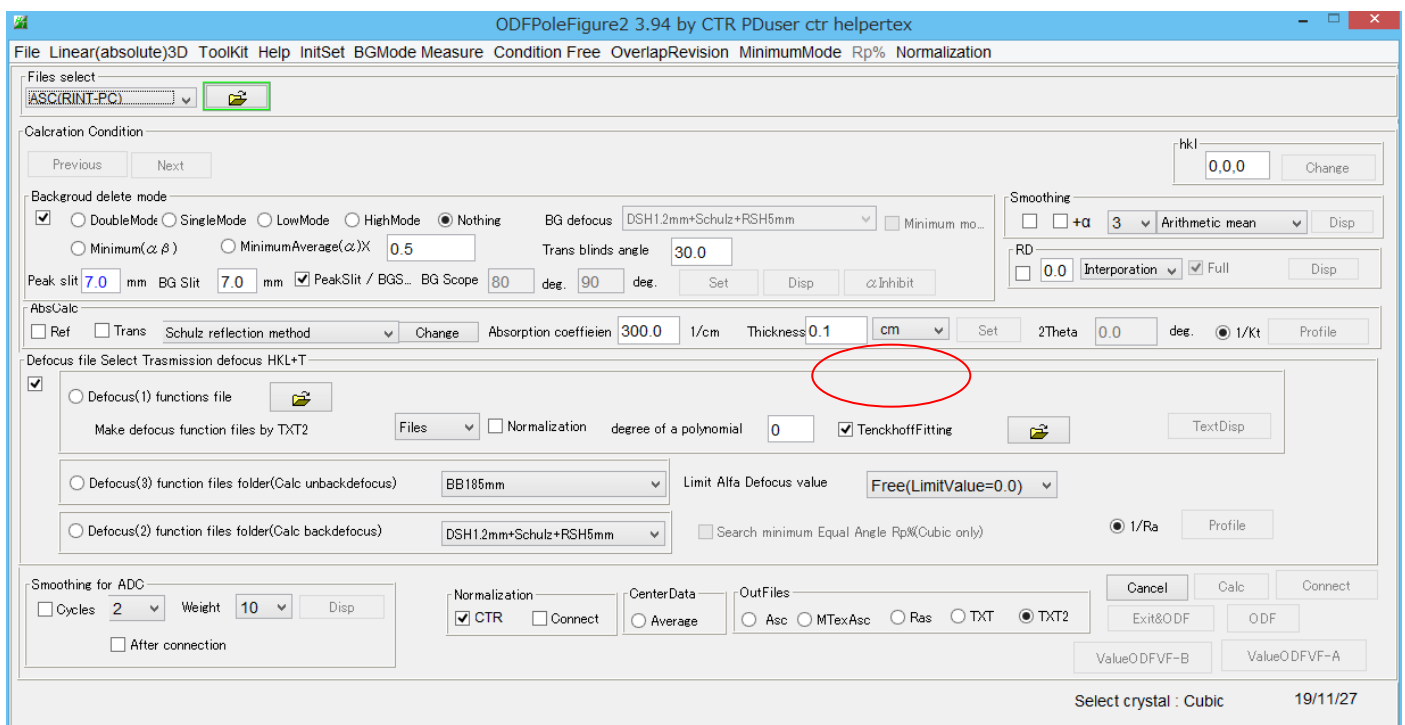
XRD では光学系の補正を行う為、無配向試料による random 測定を行い、 β 方向の平均値による α プロファイルを作成し、その逆数を配向測定データに乗算して補正が行われます。しかし、random 試料が得られない場合、Tenckhoff の計算式などで補正が行われています。又、実際の測定した random 試料の α プロファイルを整形して補正を行なわれるが、CTR ソフトウェアでは、この整形を ODFPoleFigure ソフトウェアでバックグラウンドを削除した TXT2 データを別のソフトウェア TEnckhoffCalc ソフトウェア、AddDefocusFile ソフトウェアを経由して補正 TABLE を作成していたが、ODFPoleFigure ソフトウェアで整形を行える様にしました。操作手順を説明します。

追加した機能

ODFPoleFigure1.5 の場合



ODFPoleFigure2 の場合

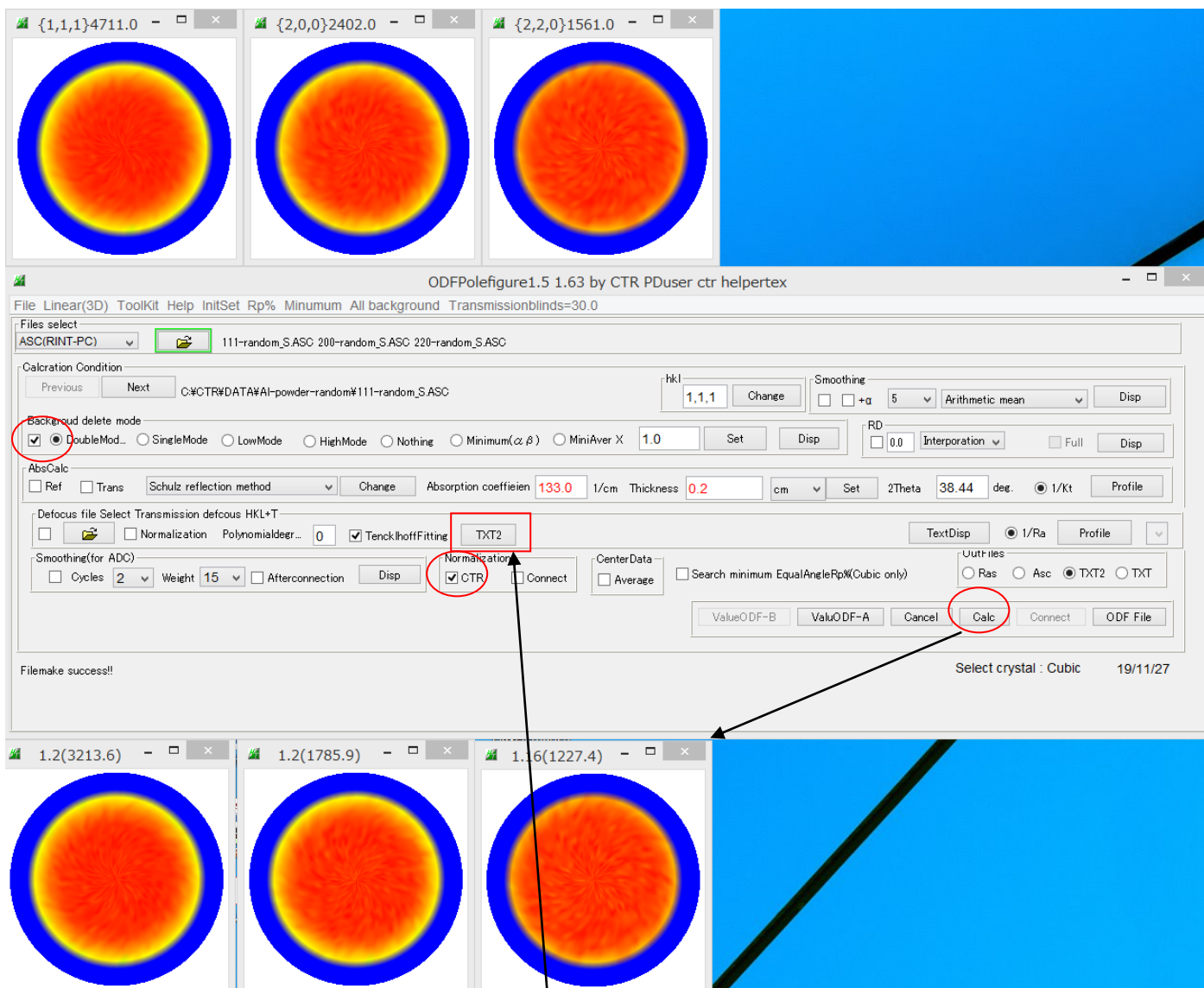


動作確認

ODFPoleFigure1.5 で説明

データ C:\CTR\DATA\Al-powder-random

バックグラウンド除去、規格化を行う。

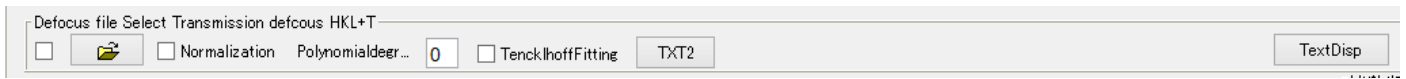


CTR > DATA > Al-powder-random

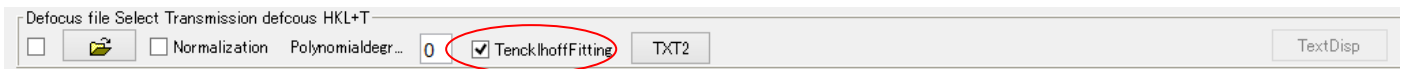
名前	更新日時	種類	サイズ
111-random_S.ASC	2016/02/27 15:05	RINT20007ｽｷｰ	22 KB
200-random_S.ASC	2016/02/27 15:07	RINT20007ｽｷｰ	22 KB
220-random_S.ASC	2016/02/27 15:10	RINT20007ｽｷｰ	22 KB
111-random_S_chB0S_2.TXT	2019/11/27 10:13	テキスト文書	26 KB
200-random_S_chB0S_2.TXT	2019/11/27 10:13	テキスト文書	26 KB
220-random_S_chB0S_2.TXT	2019/11/27 10:13	テキスト文書	26 KB
SLITTTHEATAFILE	2019/11/27 10:13	ファイル	1 KB

defocus TABLEはTXT2ファイルの登録で行われる。

TenckhoffのFitting機能を使わない場合

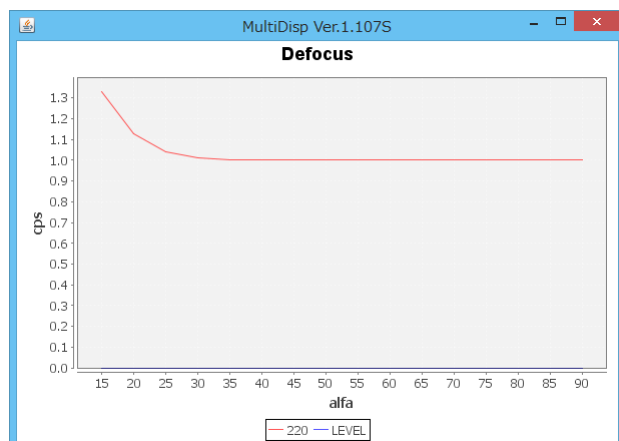
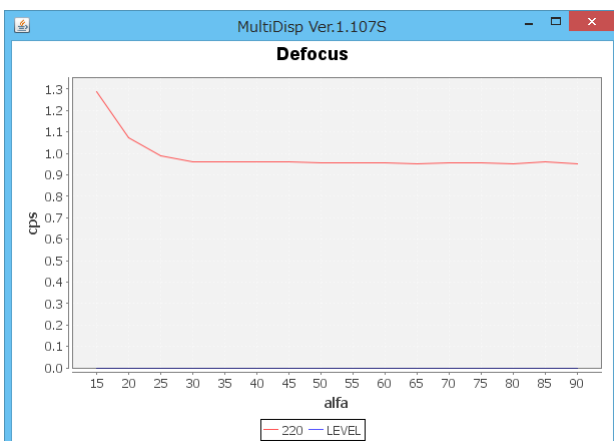
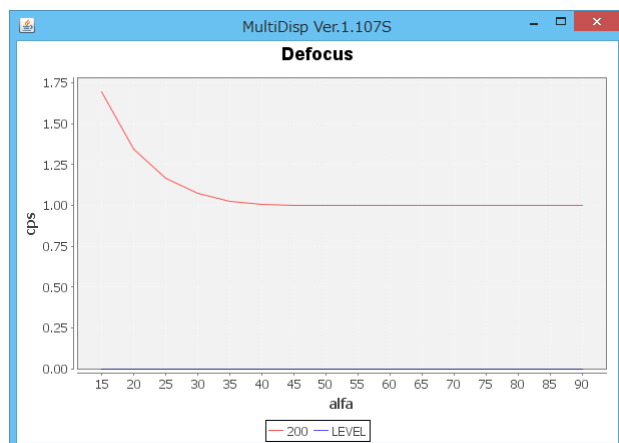
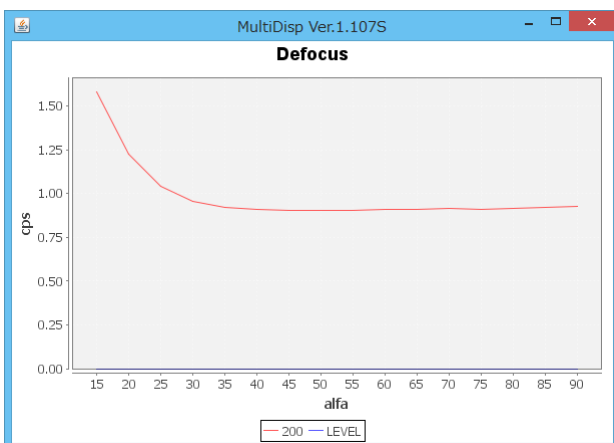
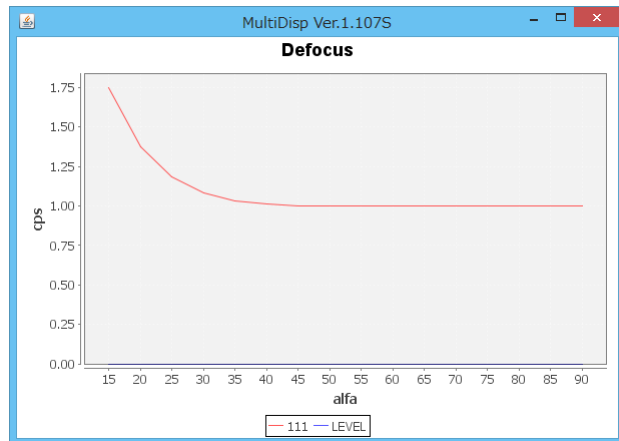
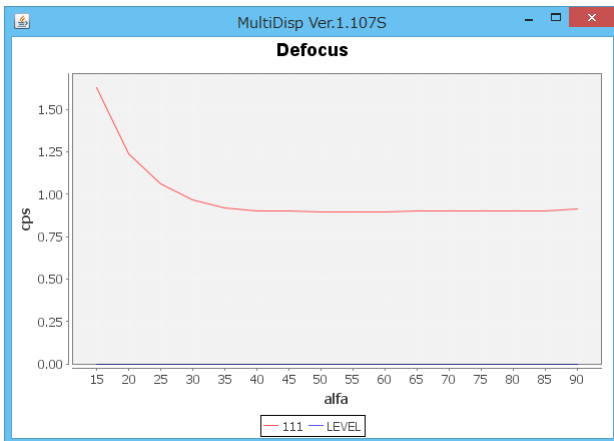


TenckhoffのFitting機能を使う場合



使わない場合

使った場合



入力 random データを補正

defocus 補正を行った極点図の $\beta 90$ 度から $\beta 270$ 度の α プロファイル比較

赤: Tenckhoff 整形なし、青: Tenckhoff 整形あり

